

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
必修	2 単位	情報処理	花田 経子	1 年次	春・秋

授業のキーワード	情報処理、コンピュータ、IT、リテラシー、情報システム
授業の概要・目的 及び修得させる知識・技能	短期大学で学ぶには必要不可欠な「情報処理論」について、体系的に学ぶ講義である。情報という言葉の本質的な理解、情報処理の仕組み、情報技術(IT)の構造と役割、ITに基づいた情報システムの社会における役割と活用方法を理解することが目的である。
履修のアドバイス・ 前提科目等	【履修上の注意】 講義形式ですが、レポートや課題においてPCの操作を義務付けます。 【履修における条件】 本講義では、『PCパス①』と『PCパス②』の取得を義務付けます。単位認定時に、パスがない学生は単位を認められませんので注意してください。

## 授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	オリエンテーション、パソコン操作基礎実習(1)	講義概要・運営方法、短大 PC の利用ルール、新短ネットの利用方法	第9講	インターネットの仕組み	インターネットとは、プロトコル、パケット通信、ルーティング、LAN
第2講	パソコン操作基礎実習(2)	電子メールの構造理解、メール初期設定、ネチケット	第10講	コンピュータの仕組み(1)	コンピュータの基本的構造、5大機能と5大装置、入力装置、出力装置
第3講	パソコン操作基礎実習(3)	Web の仕組みと Web サービスの利用、ソーシャルネットワーキングサービス	第11講	コンピュータの仕組み(2)	CPU の構造と仕組み、主記憶装置、補助記憶装置
第4講	情報とは何か(1)	現代社会における情報技術(IT)の影響、情報とはなにか	第12講	コンピュータの仕組み(3)	ソフトウェアの役割、プログラムとアルゴリズム、ソフトウェアの構造
第5講	情報とは何か(2)	情報と情報処理、情報処理と情報技術(IT)、インフラと IT の関係	第13講	IT 社会の今後(1)～情報システムとわれわれの生活	情報システムの実例(コンビニ)、情報システムとはなにか
第6講	マルチメディアと符号化	情報の伝達、メディアとマルチメディア、デジタルとアナログ、ビットによるデータ表現	第14講	IT 社会の今後(2)～IT とこれからどう付き合うのか	サイバー犯罪の実態とその仕組み、情報セキュリティとはなにか、情報格差に関連する問題
第7講	情報技術の基礎理論(1)	情報の単位、2進数と16進数、基数変換	第15講	試験＋レポート	第13講で課題を呈示し、レポートを定期試験時に提出。定期試験も実施する。
第8講	情報技術の基礎理論(2)	文字データの符号化、画像データの符号化、音声データの符号化	評価方法		(1)平常点(出席点＋ミニ課題)：50% (2)定期試験＋最終レポート：50%
備考 (関連する資格・試験等)		☆PC 実習(第1講～第3講)の際の持ち物：(1)『新短パソコン活用テキスト』、(2)USB メモリなど ☆担当者メッセージ：Web ページを閲覧しているだけでパソコンを使いこなしている“気”になっていませんか？本当の意味でのITを学ぶ良い機会です。新短のIT系講義のすべての基礎科目としてしっかり学んでください。			
使用する教科書 (必ず購入してください)			参 考 文 献		
『コンピュータ概論—情報システム入門』、石原秀男・魚田勝臣 他共著、共立出版 『新高度短期大学パソコン活用テキスト』(履修ガイダンスで配布)			『情報とはなぜビットなのか』、矢沢久雄著、日経BP社 『コンピュータはなぜ動くのか』、矢沢久雄著/日経ソフトウェア監修、日経BP社		